

タイトル：立命館宇治高等学校の生徒がフランスの方々とお茶で国際交流しました！

きょうとまるごとお茶の博覧会実行委員会事務局です。

今回は6月13日(金)に、立命館宇治高等学校茶道部の皆さんとフランス領事館で研修員として働いておられるフランスご出身者2名による交流の様子をレポートしていきます！📖

まずは生徒の皆さんが、英語を織り交ぜながら学校の施設を案内・説明してくれました🏫
初めて入る日本の学校にお2人は興味津々の様子でした。



学校の施設を見せていただいた後は、いよいよお茶室でお茶のおもてなしが始まります！

フランスの国花であるヤグルマギクを模したお菓子に、懐紙にはフランス国旗が描かれており、細やかなところにまでお2人を歓迎する心遣いが感じられました🌸

半東（亭主の補助役）を務める生徒さんが、お道具やしつらえの説明をしてくれるなど、本格的なお茶会を初めて経験されたお2人。
作法に少し戸惑いながらもおいしくお菓子とお茶を味わっていただけました！



お茶のおもてなしが終わると、今度はフランス出身のお2人が、生徒の皆さんに向け、フランスに関する様々なお話をしてくださいました。万博のフランスパビリオンや、お2人の出身地とその地域で有名なものについてお話しいただきました。



質問タイムでは、生徒の皆さんから「フランスで訪れるべきところ」、「フランスで食べてみてほしいと思うもの」、「フランスで人気のゲームやテレビ番組」について質問が上がり、フランスの「いま」を学ぶとても良い機会になりました。

お2人の発表を通して、生徒の皆さんがフランスへの関心や憧れを一層深められたようです！

今回の交流が生徒にとって、そしてフランス出身のお2人にとって素敵な思い出になれば嬉しいです:-)

参加された皆さん、ありがとうございました！

